

平成31年度第1回宇都宮市地産地消推進会議 会議録	
日 時	平成31年4月24日(木) 午前10時～11時35分
場 所	中央生涯学習センター404学習室
出席者	(委 員) 志賀会長, 福田委員, 篠崎委員, 津浦委員, 金枝委員, 山口委員, 塩井委員, 田村委員, 徳岡委員, 増渕委員, 佐藤委員, 松本委員, 小林委員, 市川委員 (14名) (事務局) 大島課長, 和田補佐, 大島係長, 石川総括, 河野主任主事, 田崎主事, 横山主事(7名)
欠席者	石原委員, 上野委員, 田野邊委員, 若林委員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	1人
内 容	
	<p>次第1 開会 午前10時(進行:大島係長)</p> <p>次第2 委員紹介</p> <p>次第3 暫定議長の選任について (暫定事業を志賀委員とすることで決定)</p> <p>次第4 議事</p> <p>(1) 議案第1号 役員の選定について (会長を志賀委員, 副会長を石原委員, 監事を徳岡委員, 佐藤委員とすることで決定)</p> <p>(2) 議案第2号 平成30年度事業報告及び収支決算について 【事務局説明】</p> <p>事務局(石川)</p> <p>小林委員</p> <p>事務局(石川)</p> <p>小林委員</p> <p>事務局(石川)</p> <p>福田委員</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食についてはどのような取組を行っているのか。 ・各学校に検討委員会を設けており, 先生, 栄養士, 生産者等が意見交換し, 地元の農産物を仕入れられるよう進めている。 ・旬の農産物を給食に使う動きが乏しい気がする。旬の農産物の情報を栄養士等に発信してほしい。 ・東一宇都宮青果(株)より見通し情報をもらい, 各学校へ提供しているほか, JAうつのみやと打ち合わせを行い, 今後はJAうつのみやからも見通し情報をもらって各学校へ提供することを検討中。 ・宇都宮市は自校炊飯方式なので, 学校給食の条件も厳しい部分があるのかもしれないが, 新鮮でおいしい野菜を子どもたちにも食べてもらいたい。学校

	<p>給食だけではなく、保育園・幼稚園の子どもたちにも理解してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴については、面倒なのではないか。どのような農家でも簡単にできる仕組みの支援が必要であると思う。
山口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴については、人によると思うが、記録をメモしている場合もあれば、忘れてしまう場合もあると思うし、最近では高齢者でも携帯を持っている人が多くなり、写真を撮ることで記録している人もいるようだ。簡略化したり、大きい文字で書けたり、マニュアル化の支援などが必要だと思う。
志賀会長	<ul style="list-style-type: none"> ・県やJAの様式等もあると思うが、協力して生産履歴のマニュアルや様式を作っていくべきである。
塩井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴については、全ての工程における記録を提出しないと、組織の一員になれないような厳しい現状もある。河内農業振興事務所の監査の指摘事項にもなっている。農薬の希釈倍数まで書かなくてはならない。
志賀会長	<ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴を記帳するために簡略化すべきという意見がある一方、厳しい現実もあり、検討していくべき事項である。
増淵委員	<ul style="list-style-type: none"> ・主婦としてこのような生産履歴の現状を知らなかったが、安全安心な農産物供給事業費の決算額が3,672円と、予算74,000円に対して決算額が少ないのはなぜか。
事務局（石川）	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の内訳は、安全安心に関する研修会の講師謝金と、イメージアップ事業における残留農薬の検査費用の補助であるが、安全安心に関する研修会では、講師謝金が無料の方をお願いしたのと、残留農薬の検査費用については、希望する直売所がなかったことによる決算額の減である。
金枝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まるかじりキャンペーンの支出が300万を超えているが、消費者プレゼントにこれだけかかったのか？どのようなプレゼントを用意したのか。
事務局（石川）	<ul style="list-style-type: none"> ・300万超えの支出については、まるかじりキャンペーンと飲食店キャンペーンの運営をお願いした(株)新潮プレスに業務委託した費用である。 ・まるかじりキャンペーンのプレゼントとしては、宇都宮牛、とちおとめ、野菜詰め合わせ、ブリッツエン米、お食事券で合計300名に当たるものであった。
金枝委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南図書館マルシェの支出が791円であるが、何の費用か。
事務局（石川）	<ul style="list-style-type: none"> ・試食を行ったので、その容器等である。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は生産者として、豊郷地区の学校給食で農産物を提供しているが、価格も安く新鮮だと好評であるが、小ロットなのが課題である。陣取り合戦になってしまうが、民間事業者が運営する直売所等が学校給食に入ることも良い

<p>篠崎委員</p>	<p>と思う。JAに出荷するより高い金額で学校に納品できているので、ウィンウィンな関係で学校給食に納品できる仕組みが豊郷地区ではできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消は浸透していると思う。新しい計画の中の、「市民が支える仕組みづくり」は、市民意識の醸成のことであると思うが、その中で学校給食は重要であると思う。学校給食がうまくいっている事例を広めていくのはどうか。 ・雀宮地区のような都会と農村が共存しているような地区では、地産地消の向上につながっているので、他地区でも検討してほしい。 ・啓発するにあたってはイベントやキャンペーン、印刷物に頼っている感があるが、印刷物は作るのではなく、どう活用するか、受け取る側にいかに渡るかが重要である。
<p>志賀会場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは地産地消推進店の認知度が低いようだ。地産地消推進店を認知してもらうためのアイデアがあればいただきたい。18店舗の辞退も気になる。
<p>山口委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進店になっていなくても、地産地消に取り組んでいる店はある。なぜ地産地消推進店にならないのか聞いてみたことがあるが、面倒くさいということだった。
<p>志賀会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進店の認知度が高まるよう、工夫していきたい。
<p>福田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自給率を向上させることと、稼げる農業と、マッチングしているのか。農地の有効活用や、施設を導入してローンが終わった生産者の後継者がいない現状の解決など、課題がたくさんある。市は稼げる農業を打ち出しているが、地産地消で稼げるのか。稼げる農業と聞くと、輸出等が浮かぶ。地産地消で稼げるシステムを作るべきではないか。
<p>志賀会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少量多品目で、販売し、きめ細やかな対応ができるのが地産地消の特徴の一つであると思う。大規模農家には農産物のブランド化や流通が重要であると思うし、大規模農家、小規模農家それぞれの役割があり、両輪で行けばよいと思う。人材の確保も重要である。
<p>松本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者は努力をしているので、販売側はその責任がある。地産地消だけでは稼げないが、両輪で行くことが必要だと思う。出口の選択肢が必要で、市外に流通する可能性を増やすことが稼げる農業につながると思う。 ・生産履歴の重要性の話があったが、生産履歴だけではなく食品表示法やHACCPなどに対応し、安全安心な農産物を流通させるよう、行政はこれらの情報を提供していくべき。
<p>事務局（石川）</p>	<p>(3) 議案第3号 平成31年度事業計画及び収支予算について 【事務局説明】</p>

篠崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の飲食店キャンペーンのパンフレットを見ると、プレゼント数がとても少なく、どうせ当たらないだろうと思う。また、パンフレットの紙が高級なので、紙を安くし、プレゼントの経費に使った方がよい。
志賀会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食については、モデル校を作ってやっていくのが良いと思う。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴の支援については、どのような支援をしたらよいのか、生産者に聞いて実施するとよいと思う。 ・学校給食については、各学校に栄養士も配置されているが、栄養士が実際に地元を歩き、生産者とつながって情報の共有を集めることも重要。
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">5 その他</div>
事務局（石川）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食フェアの案内 ・地産地消推進店を取り上げた宇都宮ケーブルテレビの番組，広報紙の案内
書記：事務局（農林生産流通課農産物マーケティンググループ田崎・横山）	